大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	電話 大阪	06(586)1122
南部事業本部	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺	0722(38)1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話 和歌山	0734(31)2481
北東部事業本部	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内	0729(62)1131
北部事業所	〒569	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻	0726(71)0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良	0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸	078(360)3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路	0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡	0796(23)2221
京滋事業本部	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 京都	075(311)7381
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	電話 草津	0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	電話 彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜	0749(62)7171
本社	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

お願い

■32−506型の機器は工事完了後、本体および排気筒に法定のステッカー（表示ラベル）を貼り付けるように定められていますので、確認してください。

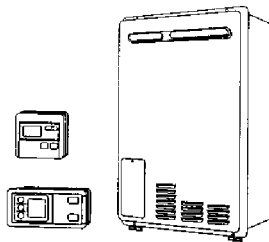
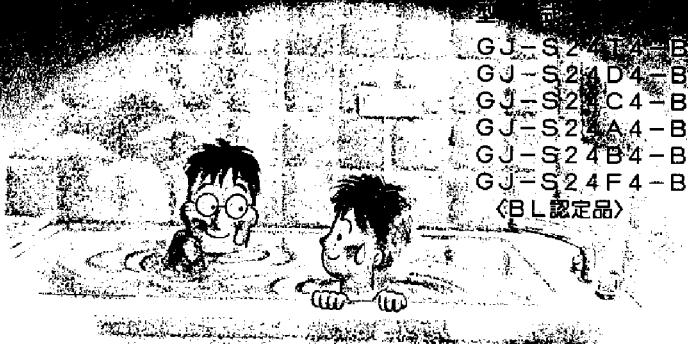
KGF9501LYGA1　Y0197−0

（24号 自動タイプ）

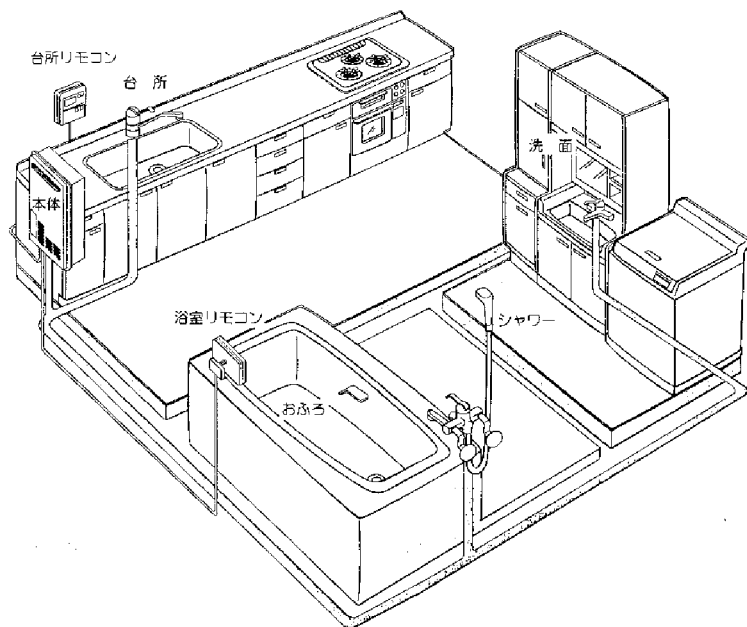
大阪ガス

ガスふろ給湯器 取扱説明書

屋外設置形 32−500,501,502,503,504,505 型
屋内設置形 32−506 型

型式
GJ−S24T4−B
GJ−S24D4−B
GJ−S24C4−B
GJ−S24A4−B
GJ−S24B4−B
GJ−S24F4−B
〈BL認定品〉

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 別添付の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。
- この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにて再購入してください。

リモコンですばやく給湯・お湯はり… 入浴が快適に！

- 適温・適量のお湯はりができれば自動消火するお湯はり運転。
- 湯温が下がっても設定温度に戻る自動追いだき。
- シャワーとふろ追いだきが同時にできる独立運転。
- 台所もおふろも安定した湯温で給湯できる温度調整付。
- 万一の異常をお知らせするOKモニター付。
- 給湯の断続的な使用時に温度変化の少ない、Q機能付。

※本文中のイラストは、32−500型の場合で説明しています。

- 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が縮まります。

もくじ

必ずご確認ください

必ず　ご確認ください

ページ

使いかた

すぐ　使いたいとき

ページ

必要なときにお読みください

もし　必要なとき

ページ

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

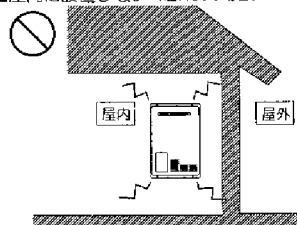
⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

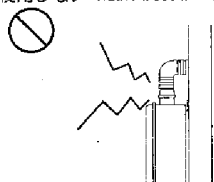
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

設置工事時のご注意

■屋内に設置しない（屋外式の場合）

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

ガス漏れ時のご注意

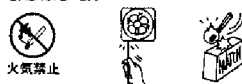
■ガス漏れに気付いたときは、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社へ連絡する

ガス栓を閉める

窓や戸を全開にする（屋内式の場合）

もよりのガス会社に連絡する（このとき周辺の電話は使用しない）

そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

引火し、爆発・火災の原因となります。

⚠警告

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする

（旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう（☞28ページ参照））

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうの循環口付近に潜ったりしない

思わぬ事故の原因となります。

■燃えやすいものとは離す（屋内式の場合）

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す（屋外式の場合）

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

必ず ご確認ください

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

給湯・シャワー使用時のご注意

■シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する

確認を怠ると、やけどの原因となります。

■熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める

水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

■混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位置まで回す

途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

■混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります

急に熱い湯が出ることがあります。配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

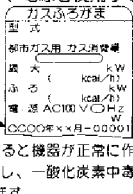
■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない

高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたりスイッチ「切」にされると冷水になりびっくりしてけがの原因となります。

■機器の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

正常に機器が設置されないと火災や機器故障の原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

ガスふろがま
型　式
都市ガス用　ガス消費量
最　大　　kW
（　　kcal/h）
ふ　ろ　　kW
（　　kcal/h）
電　源 AC100 V○Hz
W
○○○○年××月－00001

製造年月（例.○年×月製）を示します。

他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

火災の原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない（波板などにより囲いをしない。）

正常な給排気ができないため異常燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

■給排気口(トップ)をおおわない

火災や異常燃焼による機器故障の原因となります。

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く

コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

■濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

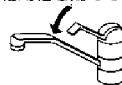
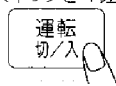
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

給湯栓を閉める

運転スイッチを「切」にする

給水元栓・ガス栓を閉める

お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する

そのままにしておくと、火災の原因となります。

■屋外に設置しない（屋内式の場合。ただしパイプシャフト設置の場合は除く）

炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り、機器故障の原因となります。

■スプレー缶を給排気口(トップ)の前方に置かない、前方で使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

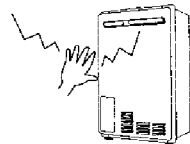
必ず
ご確認ください

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

■給湯・シャワー・お湯はり・追いだき用として使用する

他の用途に使用すると、火災や機器故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない

やけどの原因となります。

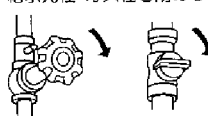
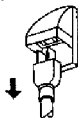
■排水の不良などで機器が冠水するような状態では使用しない

火災や異常燃焼による機器故障の原因となります。販売店にご相談ください。

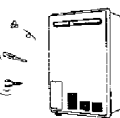
■車両・船舶への設置はしない

振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因となります。

■点検・お手入れ時は次の手順に従う

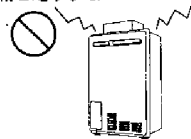
給水元栓・ガス栓を閉める

電源プラグを抜く

機器が冷えてから行なう
（☞22ページ参照）

やけどや機器故障の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない（フロントカバーを外さない）

不備が生じた場合、火災や機器故障の原因となります。販売店に依頼してください。

■機器内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない

健康を損なう恐れがあります。（雑用水としてお使いください。）

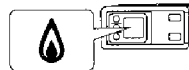
■機器の上にのったり、物を載せたりしない

やけどや機器の転倒により、けが・機器故障の原因となります。

■ソーラーシステム（太陽熱温水）に接続しない

高温水が出て、やけどや機器故障の原因となります。

■凍結後、再使用する際は全ての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れのないことを確認する

水漏れによる床や壁などの損害は、お客様のご負担となります。

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確認する

確認を怠ると、機器の異常を早期に発見できなくなります。

■アース接続されていることを確認する

漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

使用上のお願い

■使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

■断水のときは、給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのままにしておくと、機器故障の原因となります。

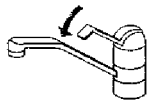
■硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで機器に影響のないものを使用する

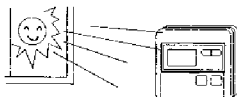
入浴剤・洗剤などによっては、機器故障の原因となるものがあります。

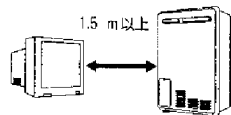
■２４時間風呂には使用しない

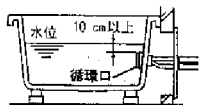
２４時間風呂への対応はしていません。

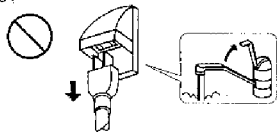
使用上のお願い

■停電のときは、給湯栓を閉める

燃焼が停止し、水になります。

■台所リモコンは直射日光、水しぶき・蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

■テレビやラジオとは1.5 m以上離す

上記の距離を確保しないと雑音の原因となります。

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する

機器故障の原因となります。

■燃焼中、電源プラグを抜いて消火しない

機器故障の原因となります。

■混合水栓を使用の場合、ときどき水だけを流す

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にごった湯（赤水など）が出る場合があります。

■混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

機器作動不良の原因となります。

■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

機器作動不良の原因となります。

■浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない

機器故障の原因となります。

■この機器の付属品、補助用具以外は使用しない

機器故障の原因となります。

■夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

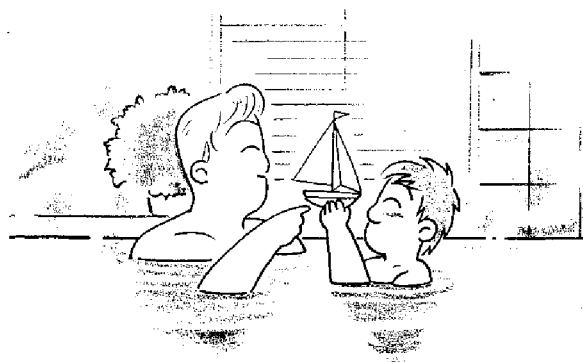
入浴健康メモ 参考

体の疲れをとる入浴のしかた！

●43～44 ℃のお湯に入る。

疲労の原因は体内に疲労物質（乳酸）がたまるため。そこで43～44 ℃の高めの温度だと、血行がグンとよくなるので乳酸が早く体外に出てゆきます。

●つかる時間は10分前後で。

熱い湯に10分間つかると、血液中の乳酸濃度が低くなり、おふろから出て１時間ほどで疲労以前のレベルに戻ります。10分がきつい人は、短い時間で何回か入るとよいでしょう。

ストレスをとる入浴のしかた！

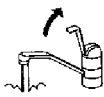
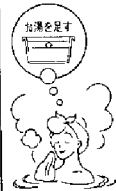
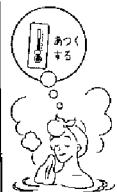
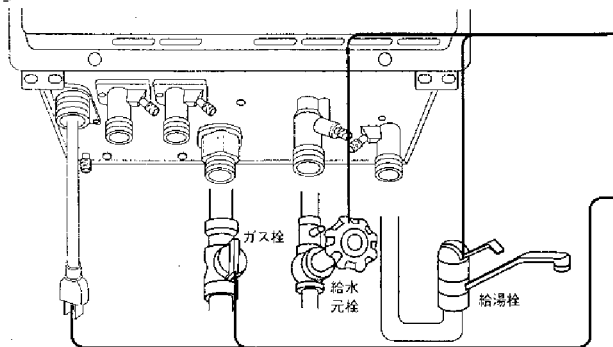
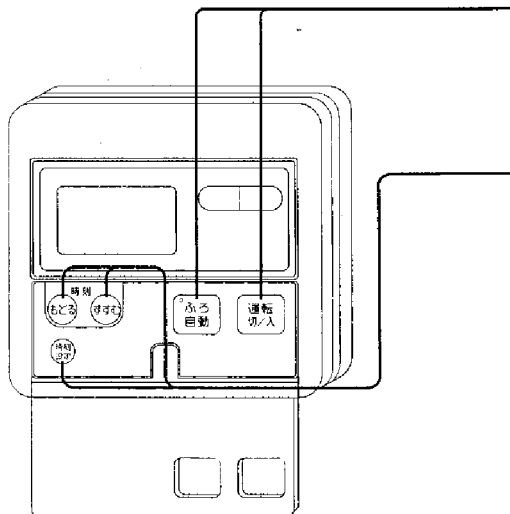
●39～41 ℃のぬるいお湯に入る。

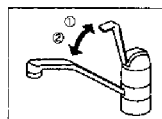
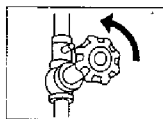
ぬるめのお湯は、交感神経の活動をしずめ、リラックスを与えてくれる副交感神経の活動を優位にしてくれます。

●つかる時間は15～20分ほどで。

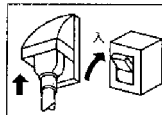
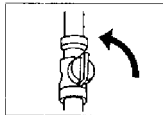
ぬるいお湯は、体への効果がゆっくりなため、長い入浴時間が必要です。ゆっくりつかっていると心臓への負担も少なく、血圧が下がってイライラが解消されてゆきます。

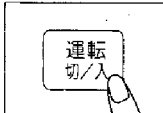
早 見 表

台所リモコン
お湯を出す・・・・P16
浴室リモコン
1 押す
運転 切/入
優先表示の確認
2 給湯温度を設定する
給湯/シャワー
ぬるい あつい
3 給湯栓を開ける
4 給湯栓を閉める
浴室リモコン
おふろにお湯をはる・・・・P18
※おふろの排水栓を閉じる
1 押す
運転 切/入
2 ふろ湯量を設定する
ふろ湯量
少ない 多い
3 ふろ温度を設定する
ふろ
ぬるい あつい
4 押す
ふろ 自動
設定湯量・温度をお湯はりすると止まり、その後4時間保温を続けます。
浴室リモコン
おふろのお湯を足す・・・・P21
お湯を足す
1 押す
運転 切/入
2 ふろ温度を設定する
ふろ
ぬるい あつい
3 押す
足し湯
約20 Lお湯を足すと止まります。
浴室リモコン
おふろから呼び出したい
1 押す
呼出
押し続けると最長で約15秒間ブザーが鳴ります。（浴室リモコン・台所リモコン両方）
浴室リモコン
おふろのお湯をぬるくする・・・・P20
ぬるくする
1 押す
運転 切/入
2
ぬるめ
約10 Lの水を足すと止まります。
浴室リモコン
おふろのお湯をあつくする・・・・P20
あつくする
1 押す
運転 切/入
2 ふろ温度を設定する
ふろ
ぬるい あつい
3 押す
追いだき
設定温度より約2 ℃高くなると消火します。
すぐ
使いたいとき

初めてお使いになるとき

※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明してあります。

1 ■ 水の出ることを確かめる

給水元栓
給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる

ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
または、ブレーカを
「入」にする

3 ■ おふろの湯が出ることを確かめる(ポンプに水を入れるため)

運転スイッチ、ふろ
自動スイッチを押す

①浴そうに湯が出ることを確かめ、
②再度ふろ自動スイッチを押し、
湯を止める。

4 ■ 現在時刻を合わせる

押す

「午前 0:00」が点滅。

午前 0:00

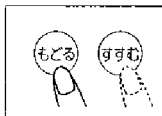
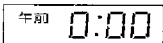
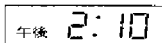
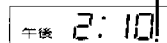
「時」「分」を合わす

例 午後 2時10分に合わす。

午後 2:10

押す

「•」が点滅。

午後 2:10

お知らせ

● (もどる)・(すすむ) スイッチは、１回押すごとに１分ずつ変わり、押し続けると１０分ずつ変わります。

すぐ
使いたいとき

お湯の出しかた（台所・洗面所）

（台所リモコン）

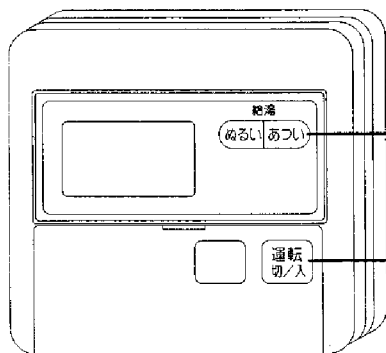
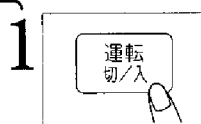
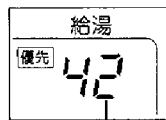
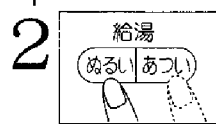
1 運転 切／入

押す

（画面が表示していることを確かめる。）

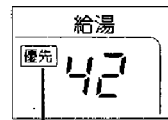
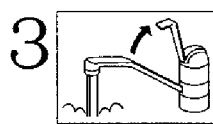
給湯 優先 42

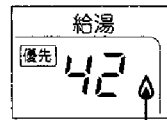
前回の給湯温度

2 給湯 ぬるい あつい

温度を設定する

- お湯の温度は約38～47℃の間と約60℃で設定できます。

優先表示
（下記参照）

3

給湯栓を開ける

- 「🔥」が点灯。

給湯燃焼表示

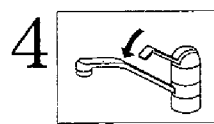
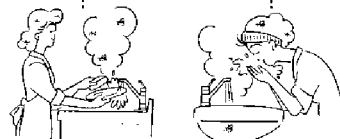
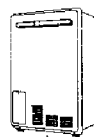
■ 2回目以降は

➡前回と同じ温度の湯が出ます。

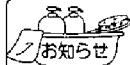
4

給湯栓を閉める

- 「🔥」が消灯。

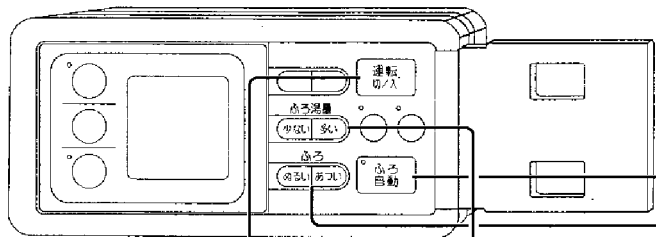
すぐ 使いたいとき

お知らせ

- お湯はり中、給湯すると➡おふろと同じ温度の湯がでます。
- 給湯栓を絞りすぎると➡熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 給湯温度は目安です。
- リモコンの運転スイッチ「切」の状態でも約8 Wの電力を消費しています。

お知らせ

優先について

優先表示（ランプ）の出ている方のリモコンのみ給湯温度を設定できます。

- 優先表示（ランプ）が消えているときは➡浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは➡押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

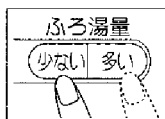
お湯はりのしかた

浴室リモコン

準備：①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをしておいてください。

1 運転 切/入

押す

（画面が表示していることを確かめる。）

2 ふろ湯量 少ない 多い

ふろ湯量を設定する

- 約40 L～約300 L(約20 Lごと)・400 L・500 Lで設定できます。

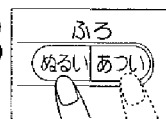
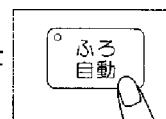
ふろ湯量表示

3 ふろ ぬるい あつい

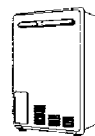
温度を設定する

- 約35 ℃～50 ℃の間で設定できます。

ふろ温度表示

4 ふろ 自動

押す

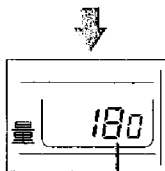
- ランプが点灯。
- 設定した湯量・湯温になると自動的に消火しブザーでお知らせします。

すぐ
使いたいとき

■ 残り湯がある場合

残り湯が循環口より下にある場合

➡新たに設定量のお湯はりをします。（浴そうよりあふれる恐れがあります。）

残り湯が循環口より上にある場合

➡お湯はりの湯量に多少のばらつきがでます。残り湯の温度がふろの設定温度に近い場合は、約 20 Lお湯はりし、設定した湯量になりません。

■ 台所リモコンでもお湯はりできます

➡台所リモコンの ふろ自動 を押す。（浴室リモコンに表示の湯量、温度になります。）

■ お湯はりが終わると

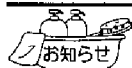
➡その後、4時間保温を続けます。
（ 保 温 が点灯）

■ 途中で止めるとき

➡再度 ふろ自動 を押す。
（ランプと燃焼表示が消灯）

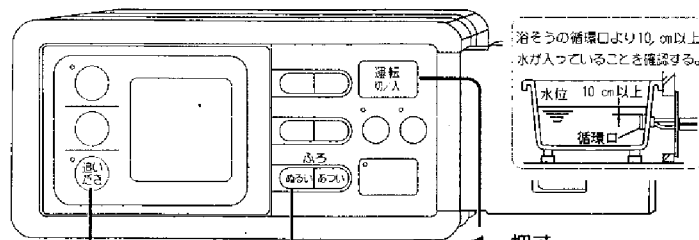
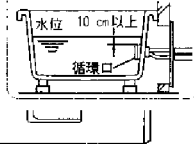
お知らせ

- 湯かげん調節は➡20ページを参照してください。
- お湯はり中は➡リモコンの優先ランプ(表示)は消えています。
- ふろ自動スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にすると
  ➡残り湯の状態により、上記のようにお湯はりされます。湯量にご注意ください。

お知らせ

- 給湯とお湯はり同時使用の場合
  ➡お湯はりは待機します。
  ➡給湯温度はふろ温度と同じになります。
- 保温中は約10分に1回湯温検知を行ないます。
- ふろ温度は目安です。

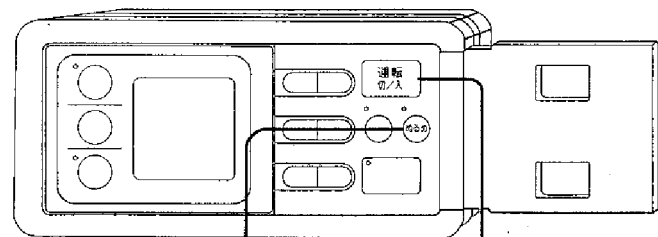
湯かげん調節のしかた

おふろのお湯を熱くしたいとき

1 押す
（画面が表示していることを確かめる。）

2 〈温度を設定したい場合〉
温度を設定する

3 押す（ランプ点灯）
➜設定温度より約2 ℃高くなると自動的に消火します。

■ 途中で止めるとき ➜もう一度（追いだき）を押す。

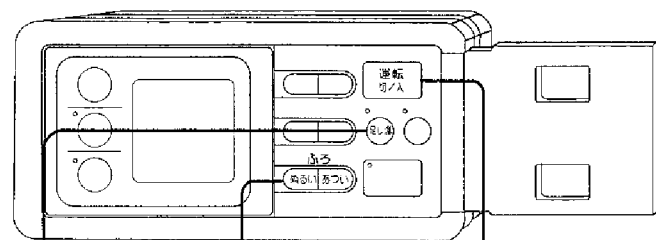
おふろのお湯をぬるくしたいとき

1 押す
（画面が表示していることを確かめる。）

2 押す（ランプ点灯）
➜約10 L水を足し、一旦燃焼して止まります。
（一旦燃焼するのは、機器内の湯温を保つためです。）

■ 途中で止めるとき ➜もう一度（ぬるめ）を押す。

足し湯・シャワーの使いかた

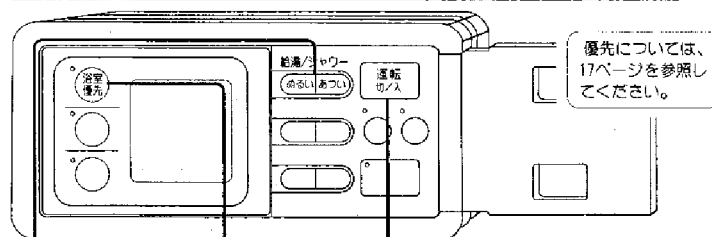
おふろにお湯を足したいとき

1 押す
（画面が表示していることを確かめる。）

2 〈温度を設定したい場合〉
温度を設定する

3 押す（ランプ点灯）
➜約20 L足し湯すると自動的に消火します。

■ 途中で止めるとき ➜もう一度（足し湯）を押す。

すぐ 使いたいとき

シャワー、カランのお湯の出しかた

1 押す
（画面が表示していることを確かめる。）

2 押す
（浴室優先 点灯）

3 温度を設定する

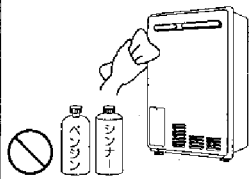
4 給湯栓を開ける

日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて
機器が冷えてから行なってください。次の要領で定期的に行なってください。

お手入れの方法

本　体

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。

〔お願い〕ベンジン・シンナーなどは使用しない！

リモコン

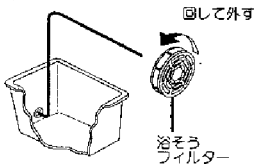
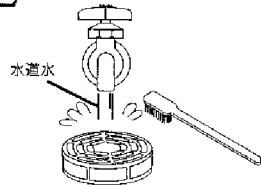
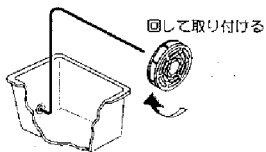
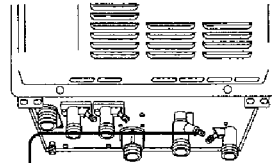
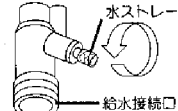
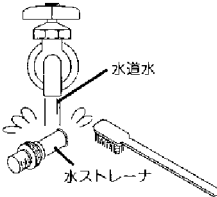
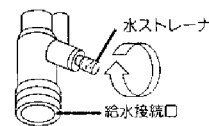
水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。

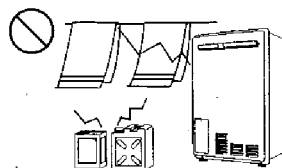
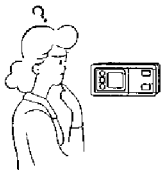
〔お願い〕ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

浴そう・洗面台

浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して青く変色することがあります。

浴そうフィルター

ゴミや湯あかなどをそのままにしておくと目詰まりを起こし機器の異常の原因となります。

給水側水ストレーナ

点検の方法

- ■ 機器の異常音は？
- ■ 外観に異常は見られませんか？
- ■ 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？

定期点検のおすすめ（有料）

- ●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。
- ●ガスふろ給湯器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはガス会社へご連絡ください。

症状	ご確認ください
運転(燃焼)しない	●電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。 ●ガス栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水していませんか。 ●凍結していませんか。(☞29ページ) ●停電していませんか。 ●ガス配管に空気が残っていませんか。➡点火操作をくり返す。 ●水ストレーナが詰まっていませんか。(☞23ページ) ●リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。
お湯があつくならない	●ガス栓が全開になっていますか。 ●湯と水の量の調節は適切ですか。
低温の湯が出ない	●給水元栓が全開になっていますか。 ●水ストレーナが詰まっていませんか。(☞23ページ)
リモコンの優先表示(ランプ)が点灯しない	●浴室リモコンの浴室優先スイッチを押し、優先ランプ(表示)の点灯を確認する。(☞17ページ)

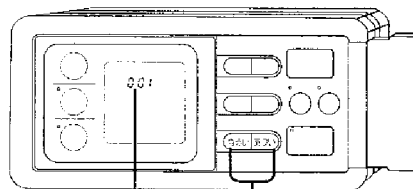
● 次のような場合は故障ではありません。

現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
使用していないのにポンプが回る	冬期の凍結予防のためです。
お湯はりしたとき設定した湯量にならない	浴そうに水または湯があるためです。(☞18ページ)
お湯はり時、給湯・追いだき燃焼表示がついたり消えたりする	浴そうの残り湯の量を判定するためで、異常ではありません。

異常時には安全装置が働きます

1.バーナーの炎が消えた場合……立消え安全装置
2.機器の温度が異常に上昇した場合……過熱防止装置
3.電気回路に漏電が生じた場合……漏電安全装置
4.給水されていないのに燃焼している場合……給湯空だき(残火)安全装置
5.過電流が流れた場合……電流ヒューズ
6.浴そうに水がないのに燃焼している場合……ふろ空だき防止装置
7.機器内の水圧が異常に上昇した場合……過圧防止安全装置

上記1～6の安全装置が働いた場合	運転スイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。

故障かな！？

OKモニターについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。
OKモニタースイッチを２つ同時に約２秒以上押すと、画面表示部に過去のエラーコードを呼び出せます。

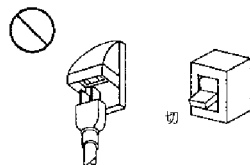
下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはガス会社へご連絡ください。

表示	原　因	処　置　方　法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだきスイッチまたはふろ自動スイッチを「切」にして、栓をしっかり閉めて再操作してください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
112	ふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだきスイッチ（またはふろ自動スイッチ）を押しなおしてください。
722	ふろ側の回路に異常がおきたため。	
632	浴そうの循環口より約10 cm以上水が入っていないためです。	浴そうの循環口より約10 cm以上水または湯を入れ、追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないためです。	ふろ自動スイッチを「切」にし、排水栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
000	停電したため。	時刻を設定しなおしてください。
101	機器の燃焼に異常がおきたためです。	お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
991	機器の燃焼に異常がおきたためです。	ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
上記以外の表示がでる場合は、運転スイッチをいったん「切」にして再操作してください。		

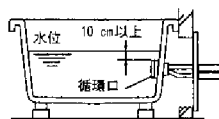
凍結予防について

通常は自動保温します（外気温0～－15℃で無風のとき）

給湯側

● 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。

絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

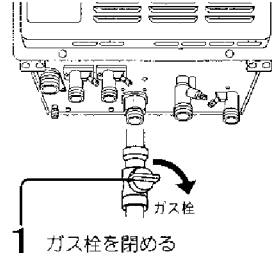
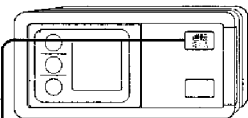
ふろ側

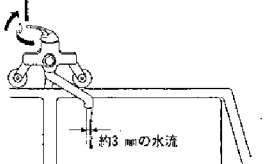
● サーモスタットの働きで、ポンプを動かし凍結を予防します。

水が循環口より10 cm以上あることを確認。

● 凍結予防としてポンプを作動させますので、寒冷時は浴そうに必ず水を張った状態にしてください。

※配管・バルブの凍結予防はできません。

給湯栓から水を出す（冷え込みが厳しいとき）

給湯側

1 ガス栓を閉める

2 運転スイッチを切る

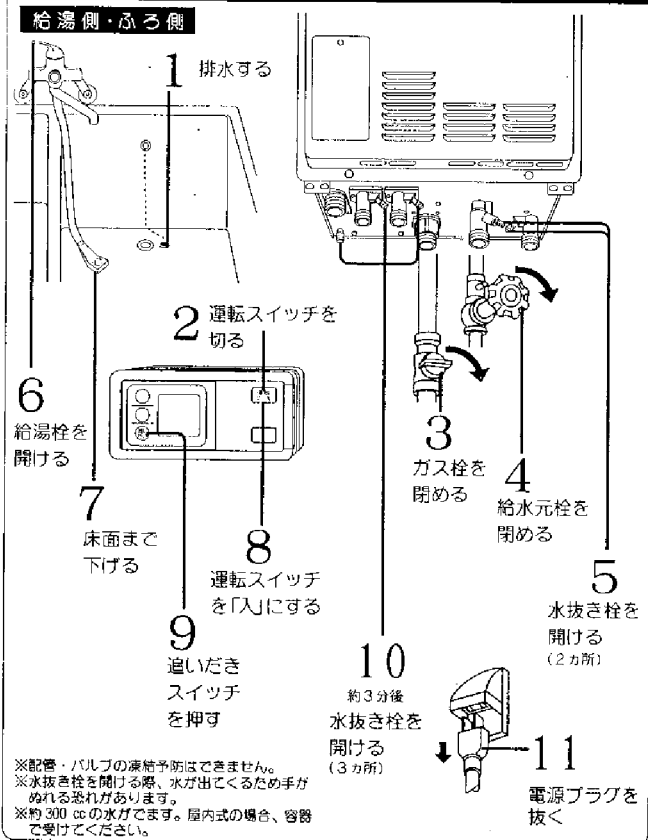
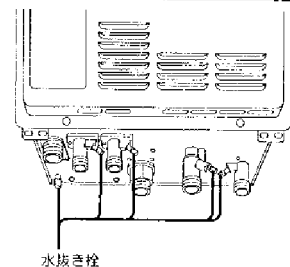
3 給湯栓を開け、水を出しつづける

絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

ふろ側

左記ふろ側の説明と同じです。

凍結予防について

水抜きをする（旅行など、長期不在のとき）

※配管・バルブの凍結予防はできません。
※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。
※約 300 cc の水がでます。屋内式の場合、容器で受けてください。

水抜き後の再使用のとき

1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は15ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める
4 ガス栓を全開にする
5 電源プラグを差し込む　またはブレーカを「入」にする
6 運転スイッチを押す
7 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき

1 ガス栓を閉める
2 給水元栓を閉める
3 運転スイッチを切る
4 給湯栓を開ける
5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する

●凍結したまま使わないでください。
●凍結による修理は有料です。

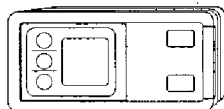
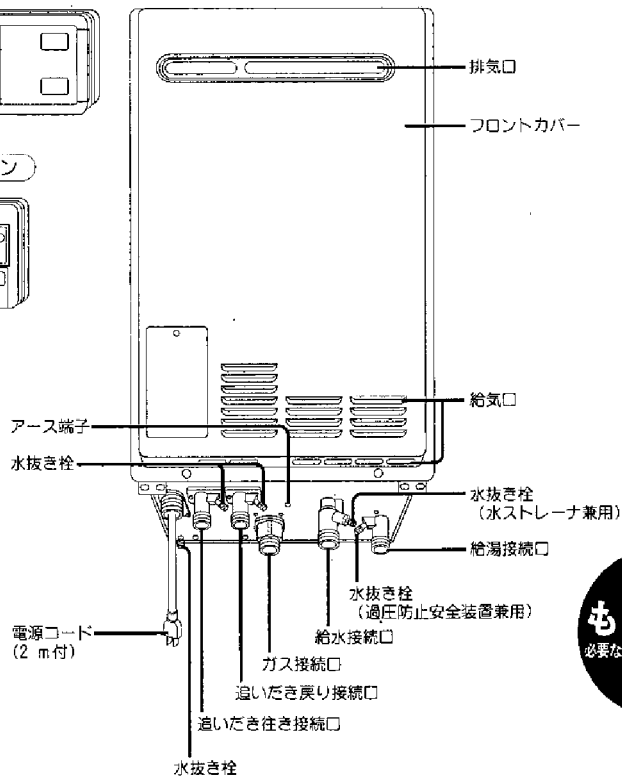
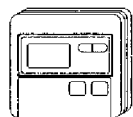
もし 必要なとき

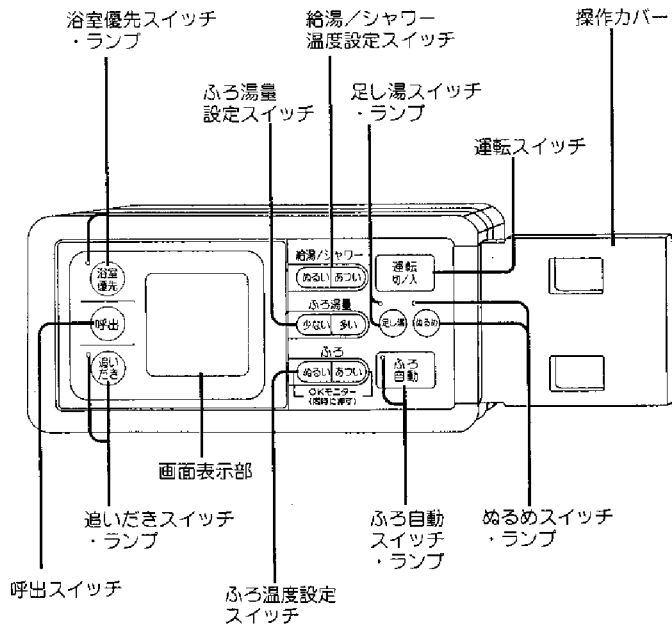
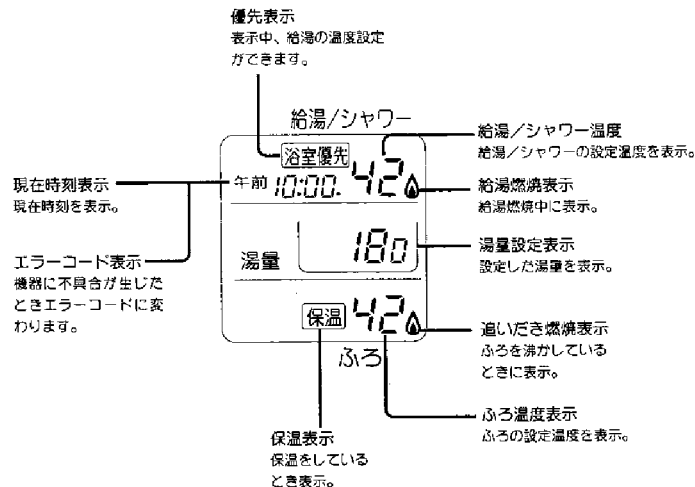
仕　様

品	種	32-500型	32-501型	32-502型	32-503型	32-504型	32-505型	32-506型
設置形態		屋外設置形	PS標準設置形	扉内設置形	前方排気延長形	アルコーブ設置形	後方排気延長形	屋内設置形
型式名	都市ガス13A	GJ-S24T4-B		GJ-S24D4-B	GJ-S24C4-B	GJ-S24A4-B	GJ-S24B4-B	GJ-S24F4-B
	LPガス用	GJ-S24T4		GJ-S24D4	GJ-S24C4	GJ-S24A4	GJ-S24B4	GJ-S24F4
外形寸法（mm）		高さ６１２×幅４８０×奥行２００						
質量（kg）		３５		３６				
出湯能力 L/min（能力大）（水圧100kPa（1kgf/cm²）時）	水温＋25℃上昇	２４．０						
	水温＋40℃上昇	１５．０						
消費電力		１５５／１８５			１８５／２１５	１５５／１８５	１８５／２１５	
		凍結予防ヒーター作動時 約 ８０						
（W）（50Hz／60 Hz）		約８（電源プラグまたは分電盤のブレーカ「入」で運転していない状態）						
点火方式		連続放電点火方式						
熱交換器	方式	２缶２水路						
	材質	ふろ釜：銅製・湯沸器：銅製						
水圧 kPa（kgf／cm²）		最低作動水圧：１５（０.１５）　使用水圧：１００（１.０）以上						
最低作動水量（L／分）		２.８						
出湯能力（湯沸器）		２４号～２．５号						
操作方法		台所リモコン、浴室リモコンによるリモコン操作						
湯沸器能力切換え		無段階						
接続	ガス	都市ガス用：２０A(R¾)　LPガス用：１５A(R½)						
	給水	２０A(R¾)						
	給湯	２０A(R¾)						
	電気	AC１００V・５０／６０Hz（電源コード２m付：32-500,506型のみ）						
	ふろ追いだき用	往き・戻り１５A（R½）						
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・漏電安全装置・給湯空だき（残火）安全装置 電流ヒューズ・ふろ空だき防止装置・過圧防止安全装置						
凍結予防装置		凍結予防ヒーター（給湯）、ポンプ循環（ふろ）						
付属品		台所リモコン(取付ねじセット付)　浴室リモコン(取付ねじセット付)　メガネ端子(3コ) Y端子(7コ)　M5ねじ(32-500,506型はなし)　排気トップ(一式)（32-500,501型はなし） やけど注意ラベル(32-502型のみ)　ふろ接続継手(一式)						
	32-500型	M5木ねじ　カールプラグ　フレキ管(一式)						
	32-506型	M5木ねじ　カールプラグ						
別売品		２心ケーブル　：(4)38-132型　増設リモコン　：(4)49-287型 排気カバー　：(4)36-653型　配管カバーセット：(4)36-658型 循環アダプター：(4)36-731～734・736型　据置台セット：(4)49-058型 厚壁用スリーブ：(4)36-050型						
ベターリビング		有						

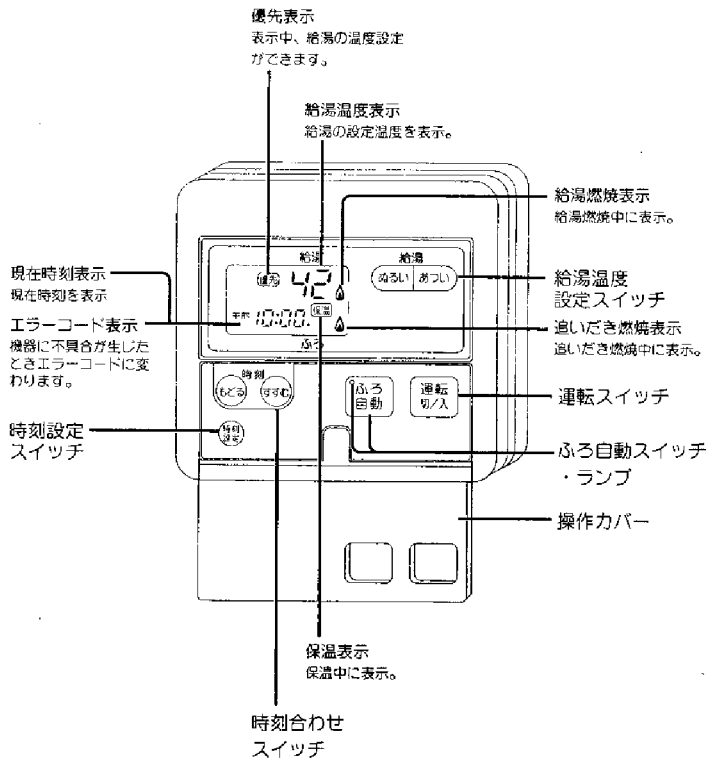
ガス種類		都市ガス１３A用：kW(kcal／h)	LPガス用：kW(kg／h)
最大ガス消費量	給湯	５２．３（４５ ０００）	５２．５（３．７５）
	追いだき	１４．０（１２ ０００）	１４．０（１．００）
	同時使用	５９．３（５１ ０００）	５９．５（４．２５）
最大ガス流量（m³／h）	給湯	４．３１	３．７５ kg／h
	追いだき	１．１５	１．００ kg／h
	同時使用	４．８８	４．２５ kg／h

●機器本体より第3種接地工事(アース)が必要です。

各部のなまえ 本体 ※３２－５００型の場合

もし 必要なとき

各部のなまえ 浴室リモコン

画面表示部

- 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。
- 「給湯／シャワー温度」「ふろ温度」の数値は目安です。

もし
必要なとき

各部のなまえ 台所リモコン

● 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。
● 「給湯温度」「ふろ温度」の数値は目安です。

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

● ２４～２６ページの 故障かな？ の項を見てもう一度確認ください。
● 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

(1)品　名……ガスふろ給湯器
(2)品　番……機器本体の正面左下部に貼付してあります。
(3)現　象……(エラーコードなど、できるだけ詳しく)
(4)お客様名・住所・電話番号・道順

例.３２−５００型の場合

(N) 32−500 (U)
大阪ガス株式会社　03

転居される場合

● ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類・電気の周波数によっては調整できない場合もあります。
● 転居・移設の際は、近隣の家に迷惑にならない場所に設置してください。騒音が気になったり、温風で植木が枯れたりします。

保証・修理について

● 保証期間中には…
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
● 保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後１０年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて修理ができない場合がありますのでご了承ください。